

専門家による 学校の窓の点検で、 安全な学校づくりを！

2024年1月から運用開始（点検事業者の登録・公表）

学校の窓点検の重要性

- ✓ 毎年多くのサッシの落下事故
- ✓ 子供の安全は社会課題
- ✓ 文科省からも毎年、学校施設の維持管理の徹底を求める文書
- ✓ 教育委員会や学校だけでは、専門的な窓の点検が難しい

サッシの専門家による点検 が求められています

（一社）建築開口部協会が、専門家による 簡易で信頼される窓点検を推進します。

点検の質 の確保

5年以上のサッシ実務経験者で指定講習会を修了した者を協会に登録し、協会が定めた点検方法や評価基準に基づいて点検を実施

効率的な 点検

サッシの落下防止のために重要な戸車や外れ止め等に絞った点検

点検時間

一般的な学校の場合、1日で終了

点検項目、点検方法、評価基準の概要

点検項目

戸車、外れ止め、フレスト、その他開閉操作に関わる部品

点検方法

全ての窓について開閉確認^(※)、必要に応じて障子を取り外して状態を確認し^(※)、点検項目ごとに評価基準にしたがい評価

※ 建築基準法の定期調査では、窓については「目視または開閉」により確認となっており、協会の点検制度はより詳細な安全確認を行うものです。

評価基準

- ・全ての窓の各点検項目について劣化度により4段階に区分
- ・劣化度3（機能低下）、劣化度4（欠損又は破損等）のものがある場合は、当該部品の交換や窓の改修を提案

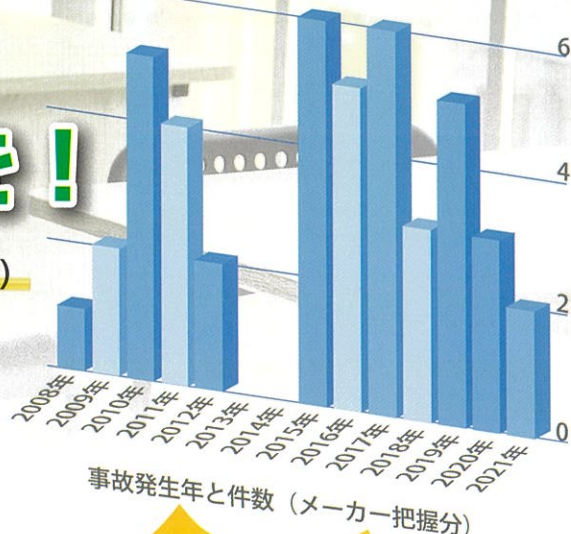
登録、点検の流れは裏面へ

制度の詳細、（一社）建築開口部協会ホームページをご覧ください

（アドレス）<https://www.jboa.or.jp/business/maintenance/school/index.html>

（一社）建築開口部協会とは

建築物の開口部の性能向上や品質確保のために、サッシメーカーや施工業者等の会員が協力して、調査研究・普及活動を行っている団体です。



校舎引違い窓枠の落下防止

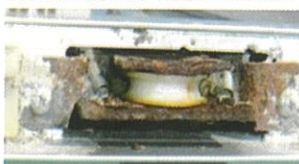
窓に動きにくさ、変形、腐食及びガタつき等の異常が見受けられる場合は、無理な開閉操作により障子ごと落下する恐れがあるため、専門家に相談するなど適切な対応をお願いします。



障子の落下箇所 （修繕後）

（既存学校施設の維持管理について
（令和元年10月28日付
事務連絡）より抜粋）

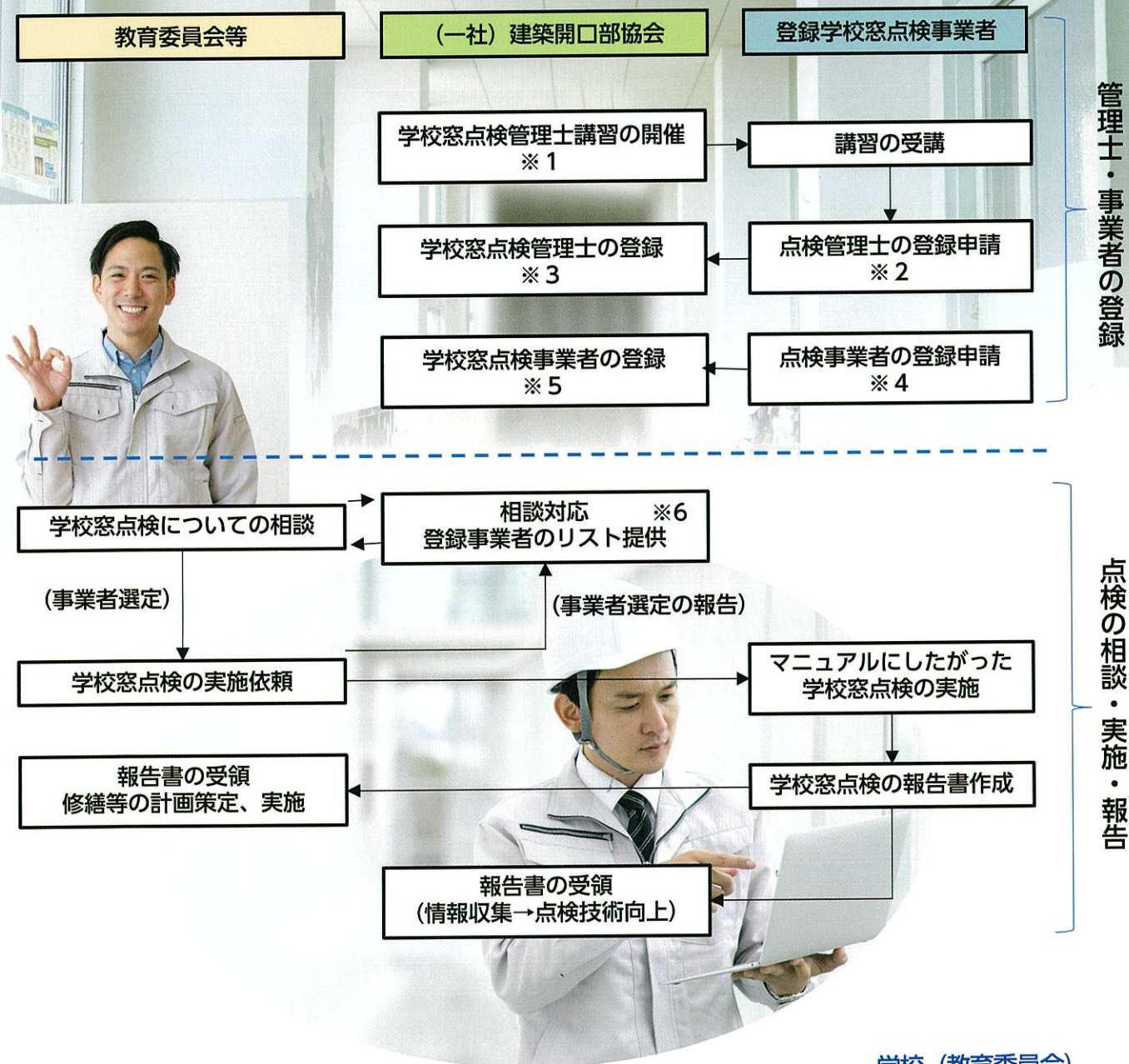
2023年5月2日付文部科学省事務連絡参考資料より
https://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/maintenance/1386779.htm



劣化した戸車



登録学校窓点検事業者による窓点検の流れ



※1 毎年1回程度開催

※2 学校窓点検管理士の登録申請の要件
 ・サッシの実務経験5年以上
 ・講習を修了等

※3 登録の有効期間は3年
 登録の更新をする場合は、講習を受講・修了

※4 登録学校窓点検事業者の登録申請の要件
 ・学校窓点検管理士を2名以上擁していること

※5 登録の有効期間は3年

※6 事業者リスト
<https://www.jboa.or.jp/s-list/list.html>

